

令和4年度9月補正予算の概要について

(新型コロナウイルス感染症に係る緊急対応分)

令和4年9月9日

(単位：千円)

一 予算規模

一般会計

補正額 2,316,239

補正後の規模 630,968,086

前年度9月補正後予算との対比 13,991,774
(2.3%増)

《補正予算の財源》

特定財源 1,859,494

国庫支出金 1,835,413

諸収入 24,081

一般財源 456,745

繰越金 456,745

二 補正予算の主な内容

今回の補正予算は、新型コロナウイルス感染症への対応に要する経費について計上した。

- | | |
|---|---------|
| (1) ①新型コロナウイルス感染症総合案内窓口設置事業 | 207,750 |
| 全数把握の見直しを見据えて、発生届の対象外となった陽性者に係る相談体制を整備するため、新たに新型コロナウイルス感染症に関する総合案内窓口を設置するとともに、窓口の周知啓発を強化する。 | |
| (2) 検査体制整備事業 | 300,000 |
| 診療・検査医療機関の負担軽減のため、「秋田県新型コロナウイルス感染症検査キット配付・陽性者登録センター」の設置を継続し、重症化リスクの低い有症状者に対して無料で抗原定性検査キットを配付する。 | |
| (3) 新型コロナウイルス感染症自宅療養者支援事業 | 864,000 |
| 食料品等の配付を希望する自宅療養者への支援経費を増額する。
・事業内容 食料品及び日用品の発送 | |
| (4) 新型コロナウイルス感染症保健所体制整備事業 | 542,260 |
| 保健所業務の外部委託を推進するほか、会計年度任用職員を増員することにより保健所の負担軽減を図り、重症化リスクの高い方に速やかに対応できる体制を整備する。
・委託内容 パルスオキシメーター、食料品等の配送調整
休日・夜間における自宅療養者の医療相談 等 | |
| (5) ①新型コロナウイルス感染症後方支援医療機関協力体制整備事業 | 146,700 |
| 新型コロナウイルス感染症からの回復後に引き続き入院が必要な患者の受入体制を強化・拡大するため、当該患者を受け入れする医療機関に協力を支給する。
・支給対象 新型コロナウイルス感染症後方支援医療機関
・支給額 新規患者1人当たり10万円 | |
| (6) ①新型コロナウイルス感染症罹患後症状対策事業 | 195 |
| 新型コロナウイルス感染症の罹患後症状（後遺症）に係るリーフレットを作成し、その症状や相談・受診先等について周知啓発を図る。 | |
| (7) 新型コロナウイルス感染症対策協議会運営費等 | 11,090 |
| 状況に応じた機動的な対応を可能とするため、「秋田県新型コロナウイルス感染症対策本部」に会計年度任用職員10名を増員する。 | |

(8) 新型コロナウイルス感染症緊急包括支援補助金

244,244

市町村が実施する新型コロナウイルス感染症緊急包括支援交付金対象事業に要する経費に対し助成する。

- ・補助先 秋田市
- ・補助対象 秋田県新型コロナウイルス感染症総合案内窓口の設置
休日・夜間における医師による医療相談等
- ・補助率 10/10 (国 10/10)